



昨年、税源移譲が実施され、多くの人は市・県民税が増え、平成19年分の所得税は減りました。

退職などにより所得税がかからなくなった人へ
平成19年度の市・県民税が還付される場合があります

- [ア]** 平成19年度市・県民税の課税所得金額(申告分離課税分を除く) > 市・県民税と所得税の人的控除額の差の合計額
- [イ]** 平成20年度市・県民税の課税所得金額(申告分離課税分を含む) ≤ 市・県民税と所得税の人的控除額の差の合計額

※人的控除：市・県民税と所得税に適用される配偶者控除、扶養控除、基礎控除などのことで、市・県民税のほうが控除額が低く定められています。生命保険料、地震保険料などの支払い額に関する控除は含まれません。

しかし、退職などにより所得が減り、所得税がかからなくなったような場合には、市・県民税は増えた一方で、所得税の減額調整はされないこととなります。そこで、このような場合には、経過措置として平成19年度分の市・県民税を税源移譲前の税率で計算した税額まで減額し、すでに納付済みの場合は申告により差額を還付します。

対象となる人

左図ア・イの両方の要件に該当する人が対象です。

厚木基地へ乗り入れ

次期固定翼哨戒機(XP-1)性能評価の動向

昨年10月11日、防衛省から市へ、海上自衛隊が現在使用している固定翼哨戒機(P-3C)の後継機となるXP-1の装備品などの性能評価を実施するため、同機を厚木基地へ乗り入れるという内容の通知がありました。これを受け、市議会をはじめ、市民、議会、行政の代表者で構成される大和市基地対策協議会(会長：大木哲大和市長など)の場で、同機の性能評価の概要のほか、安全性や性能評価の実施に伴う航空機騒音、施設の整備による市民への影響などを中心に議論が重ねられてきました。



次期固定翼哨戒機(XP-1)【岐阜基地】

市では、これらの内容を踏まえ、国に文書などで照会しました。これに対し国は性能評価を今年度から平成23年度にかけての約4年間実施し、平均で2〜3日に1回程度の飛行を2機のXP-1により実施するとしています。また、地上での確認や同機の製造会社による社内飛行試験では、耐空性など安全性は確保されており、騒音レベルは現在使用しているP-3Cに比べて、巡航出力で10デシベル、離陸出力で5デシベル低減しているとの回答がありました。

【表2】性能評価の関連施設 【表1】騒音測定結果(測定時最高音) 単位：dB(デシベル)

関連施設	機種	P-3C		XP-1	
		調査日	調査日	調査日	調査日
エンジン整備場	調査日	10/24	11/19	10/24	11/19
エンジン試運転場	離陸時	1機目79.2	1機目87.9	79.3	78.7
		2機目77.5	2機目90.9		
電子整備場	着陸時	1機目84.2	1機目83.2	80.0	79.6
搭載支援器材作業場	着陸時	2機目85.0	2機目83.4		
洗機場					
評価・解析棟					

※厚木基地滑走路北端からの距離に換算して、離陸時は約1%、着陸時は約700%に相当する地点での測定結果。

昨年10月24日と11月19日にXP-1の騒音レベルについて、飛行試験が実施されている岐阜基地周辺で調査しました。通常、騒音測定には数多くの測定を必要としますが、飛行試験の段階であり、飛行回数が少ないことから、二日間にとわたり、2回の飛行をとり調べて調査を実施しました(表1参照)。

また、国はこの性能評価に伴いエンジン試運転場などの関連施設(表2参照)を整備するとしています。



増田好平防衛事務次官に要望書を手渡す大木会長と基地対策協議会の代表者【防衛省・今年2月19日】

市では、これまでの経過や議論を踏まえ、県および綾瀬市と連携し4月4日に南関東防衛局長に対して、飛行の安全の確保や騒音軽減に向けた最大限の努力をすること、基地周辺住民の負担増加につながらないようにすることなどを要望しました。

これに対して、同局からは、要望を踏まえ運航安全および騒音の軽減に最大限努力していく旨の回答がありました。国によれば、XP-1は、今年8月ごろに性能評価のために厚木基地に乗り入れる見込みであるとして、現在、関連施設の整備が進められています。

市では、同機の性能評価のための乗り入れについて、今後の動向を注視しながら、市民の負担増加となることのないよう適切に対応していきます。

次期固定翼哨戒機(XP-1)性能評価のための乗り入れに対する主な経過

とき	主な内容
昨年10月11日	「海上自衛隊厚木航空基地への次期固定翼哨戒機の乗り入れについて」(通知)
11月 1日	大和市議会 基地対策特別委員会(臨時)でXP-1の乗り入れについて対応を協議
11月15日	「海上自衛隊厚木航空基地への次期固定翼哨戒機の乗り入れについて」(照会) ※1
11月19日	大和市基地対策協議会が航空自衛隊岐阜基地でのXP-1の飛行状況などを視察
11月30日	「海上自衛隊厚木航空基地への次期固定翼哨戒機の乗り入れについて」(回答)
12月19日	大和市議会「厚木基地への次期固定翼哨戒機(XP-1)乗り入れに関する決議」採択 ※2
今年 1月17日	大和市基地対策協議会臨時総会でXP-1の乗り入れに関する国への要請内容を検討
4月 4日	「海上自衛隊厚木航空基地への次期固定翼哨戒機の乗り入れについて」(要望) ※1

※1 国に対して、神奈川県・綾瀬市・大和市が3者連名により実施
※2 「性能評価のための乗り入れについては、騒音や安全に十分配慮するよう強く要請する」との内容

問い合わせは、市役所基地対策課基地対策担当☎(260)5310へ。

現在国内に居住していない人
②住宅ローン控除などで平成19年分の所得税が課税されなくなった人

6月下旬に申告書を送付

減額の対象となる可能性がある人には、6月下旬に「平成19年度分市・県民税減額申告書」を送付する予定です。

申告期間は7月1日から31日まで

7月1日(火)〜31日(木)に、平成19年1月1日現在に住んでいた市区町村(平成19年度市・県民税の課税市町村)へ減額申告書を出してください。

問い合わせは、市役所市民税課個人市民税担当☎(260)5232へ。

特別支援教育推進のため

小・中学校の非常勤講師(教諭)を募集

市教育委員会では、市内の公立小・中学校で特別支援教育を必要とする児童・生徒への支援などをする非常勤講師(教諭)を募集しています。

職種▼専任用非常勤講師
募集人数▼15人程度
応募資格▼小・中学校の教員免許を有する65歳未満の人

勤務時間▼1日6時間で週18時間勤務を限度(週2〜3日程度)

※配置先の学校により異なります。

勤務先▼市立小・中学校
賃金▼時給1,950円〜2,280円(原費用要件による)

申し込み▼履歴書、証明写真2枚および教員免許状の写しを持参し、学校教育課へ。申し込み順に面接を行い、勤務先の学校の要件が整い次第、順次任用していきます。

問い合わせは、市教育委員会学校教育課学務担当☎(260)5208へ。